



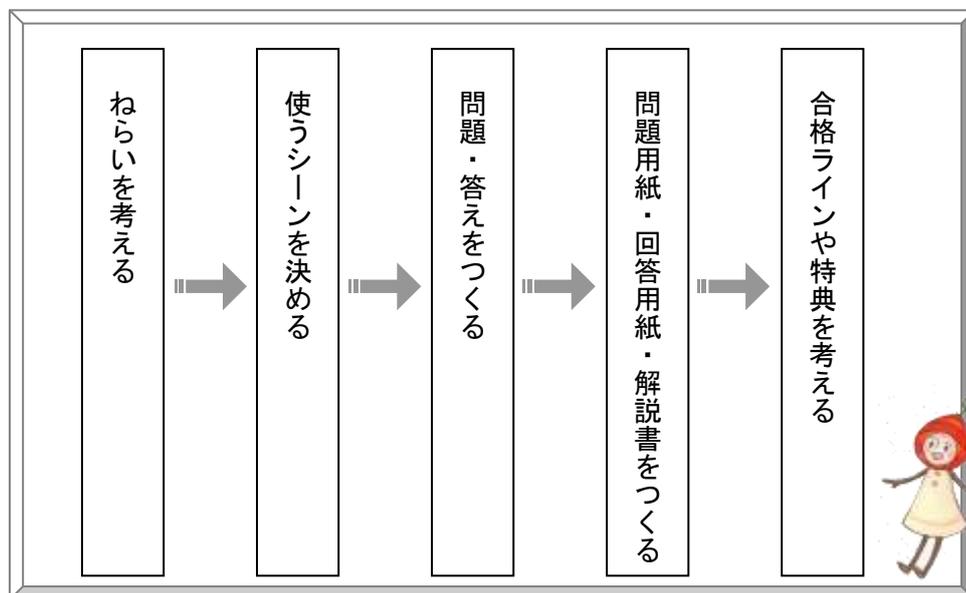
薪炭検定づくりマニュアル

はじめに～薪炭検定とは～

「薪炭検定」とは、木や森、そして木から作られる紙、家具、家、炭、薪、それらを利用したお店や施設など、私たちの身の回りの森の恵みについて楽しく気づき、学び、広めるためのツールです。一見私たちの普段の生活には関係が無いように思えますが、実は私たちは日々森の恵みに頼って生活しています。そうした恵みに気がつくと、これまでとはちょっと変わった、面白い世界が広がります。

「薪炭検定」にはいろいろな使い方があり、目的に応じて環境問題や森林についての知識を深めたり、地域の情報を集めたりすることができます。自分にあったペースで、友達や家族と協力しながら、自分たちの薪炭検定づくりにチャレンジしましょう。

作成手順



1. ねらいを考える

検定を通してどのようなことをしたいのか、目的を考えましょう。「楽しく森について学ぶ」「地域の情報を集める」「メンバーの知識をレベルアップする」など、誰が、どうなることを目指すのかを最初に目的を決めておくと、スムーズに運びます。



ヒント

- (例) 「検定を通じて森の大切さを伝えたい」…森づくり活動の前後に森や環境に関する基礎知識に関する検定を実施
「森の恵みと楽しく触れ合いたい」…薪を使ったピッツア店で試食しながら検定を実施
「自分の地域を深く知りたい」…地域で森の文化や歴史に関連したスポットをオリエンテーリングで回りながら検定を実施

2. 使うシーンを決める

ねらいが決まったら、実際に検定を行う際のシーンを考えましょう。ねらいに合わせて「回答時間を与えてその場で行う」「紙などで配布して後日回答を知らせる」「インターネット上で体験できるようにする」などの方法があります。

検定で「何かを伝える」ことを目的とする場合、検定とともに勉強会や体験教室、見学などと組み合わせて行うのも良いでしょう。また、クイズやゲーム形式から試験形式まで、当初のねらいに合わせてどれだけ簡単に行うか、または厳密に行うのかなど、大まかなイメージを共有しましょう。



ヒント

- (例) 媒体は?…紙、配布資料、会報誌、インターネット
形式は?…紙芝居、ゲーム、クイズ、オリエンテーリング、試験

3. 問題・答えをつくる

問題をつくる際は、問題の難易度やジャンルを意識するとよいでしょう。自由に問題を出し合った後で選んでいく方法と、先に難易度やジャンルに合わせて問題数を考えて問題をつくる方法があります。いずれかやりやすい方法でやってみましょう。

問題の内容は、伝えたいメッセージがあればそれらを意識した問題にし、考えさせる問題、回答に新しさがある問題、知識を必要とする問題、計算問題、マニアックな問題、解くだけで面白い問題など、ねらいに合わせて考えましょう。

問題をつくる過程は楽しいもの。知識を出し合ったり、問題を募集したりすることで、知恵を結集したオリジナルの検定をつくることができます。一人で考え込まずに、皆でアイデアを出し合しましょう。

回答形式は〇×や 4 択などの選択形式や、自由回答形式があります。クイズ形式で簡単に行う場合には、その場で挙手をする、など、回答方法をあらかじめ考えておきましょう。



ヒント

(例) 難易度は?…子供向け、地域の人向け、専門家向け

ジャンルは?…環境、動物、植物、木の実、木、木材、森づくり、歴史、文化、地域、里山、道具、料理、暖房、教育、運動、救急

★イラストや写真を用いた問題もあると、より楽しくなります。

★知識を必要とする問題の場合、問題を読んだ時点で解けるか解けないかが決まってしまう。考える余地のある問題や、体験を通じて分かる問題も取り入れると良いでしょう。

4. 問題用紙・回答用紙・解説書をつくる

解答や選択肢が正しいか調べ、必要に応じて問題用紙、解答用紙、解説書をつくりましょう。解説をその場で行う場合には、回答に関連した事柄を実演したり、実物や写真を見せると良いでしょう。



ヒント

問題用紙、解答用紙、解説書をつくる際には、薪く炭く KYOTO のホームページ上にあるフォーマットを使うこともできます。(http://www.sinktank.org/03make-exam/)

5. 合格ラインや特典を考える

実際に自分たちで問題を解き、回答時間を決め、問題が適切であるか見直しましょう。必要に応じて合格点数を決めたりランキングをつけ、合格証書などの特典をつけると盛り上がります。



オリジナルの合格証書や景品をつけてもよいでしょう。
(例) 合格者に炭火焼チキンをプレゼント



検定の実施例



対象：一般 20 名（小学生以上）

ねらい：森林資源の暖かさや楽しさを啓発し、薪炭の奥深さや森の大切さを伝え、森づくり活動を促進する。

試験時間：30 分

問題形式：4 択

問題ジャンル：歴史、文化、科学、統計、生活、地域、芸術

問題難易度：3 つに分類し、各 10 問ずつ合計 30 問

特典：20 点以上を合格とし、合格者の名前と点数を読み上げ、木製の合格証書を授与

内容：火起こしに関する勉強会（1.5 時間）

検定（0.5 時間）

解説（0.5 時間）

火起こし体験（1 時間）

結果発表（0.5 時間）

計 4 時間



合格証



検定



火起こし体験



結果発表